

令和5年度「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」に係る  
未来を生き抜くためのエージェンシー育成プログラム委託業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和5年5月11日（木）9時から11時まで
2	場 所	広島県庁自治会館 304 会議室
3	出席委員	広島県教育委員会事務局学びの変革推進部 高校教育指導課長 広島県教育委員会事務局管理部 総務課長 地域政策局 国際課長 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部 義務教育指導課 教育指導監（代理出席） 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部 個別最適な学び担当課長
4	議 題	プレゼンテーション審査
5	担当部署	広島県教育委員会事務局学びの変革推進部高校教育指導課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者</p> <p>① 東武トップツアーズ株式会社 ② 株式会社JTB ③ 株式会社ミエタ ④ アイ・シー・ネット株式会社</p> <p>(2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者及び選定理由</p> <p>ア 最優秀提案者：株式会社JTB イ 選定理由</p> <p>① 遂行能力</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の県立学校とのつながりや探究活動を推進する専門チームを有するなど、実施体制が整っていると評価できる。</li> <li>・修学旅行等の学校行事に長年携わり、教育改革に関連する各種組織、企業等との関係性もあるため、様々なネットワーク・人脈・ノウハウが活用できると評価できる。</li> </ul> <p>② 業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の事業目的を理解しており、本事業で育成を目指す資質・能力が具体化されている。</li> <li>・各活動プログラムの企画・運営について、具体的に検討された提案内容となっている。</li> </ul> <p>③ 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務責任者（コーディネーター）及びメンター等の実施体制が整っており、生徒の能力、意欲及び関心を加味したグループ編成やテーマ設定が期待できる。</li> <li>・1月に実施する高校生国際会議では、国内外の組織との連携の上、グローバルサミットの要素を取り入れたサミットの実施を予定しており、1年間の集大成としての発表の場の提供が期待できる。</li> <li>・各取組の課題を把握しており、提案内容を実現できると感じられる。</li> </ul> <p>④ 見積価格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所要経費の明細は明らかになっており、最もコストが抑えられている。</li> </ul> <p>(4) 非選定者及び総括意見内容</p> <p>ア 東武トップツアーズ株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績は十分あると評価できる。</li> <li>・実施方法の具体やスケジュールが不明確である。</li> <li>・各活動プログラムの企画・運営について、具体性が不十分と感じられる。</li> <li>・生徒の能力、意欲及び関心を加味したグループ編成やテーマ設定について柔軟に対応できるか不透明である。</li> </ul> <p>イ 株式会社ミエタ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績は十分あると評価できる。</li> <li>・生徒の能力、意欲及び関心を踏まえ、グループ編成やテーマ設定について柔軟に対応できると感じられる。</li> </ul>
--	--	---

	<ul style="list-style-type: none"><li>・会場の設定やその根拠についてコンセプトや効果に関する説明が期待するものではなかった。</li><li>・本事業で身に付けさせたい資質・能力について具体の説明が得られなかった。</li></ul> <p>ウ アイ・シー・ネット株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実績は十分あると評価できる。</li><li>・県の事業目的を理解しており、本事業で育成を目指す資質・能力が具体化されている。</li><li>・参加する生徒への配慮を踏まえて事業内容を考えている。</li><li>・成果発表及び評価方法について、実行可能性が低い。</li><li>・年間にわたる提案内容を実施するための人的配置についてなど、各活動プログラムの企画・運営について、不透明な点があると感じられる。</li></ul>
--	---